

矢巾町定例記者会見

日 時：令和 7 年 1 月 14 日（火）
午前 9 時 30 分～午前 10 時
場 所：役場 2 階 2 - 2 会議室

【内容】

- 1 矢巾町サステナブルアワード 2 0 2 4（町民環境課）
- 2 スミつけ祭り及び矢巾町冬イベント（産業観光課）
- 3 令和 6 年度 地元学び塾 第 3 弾～味噌づくり編～（産業観光課）
- 4 第47回矢巾町郷土芸能大会（文化スポーツ課）

案 件 名 矢巾町サステナブルアワード2024の開催について**所 管 部 署** 町民環境課 環境係 担当者 宮 一隆 (内線2501)

矢巾町では、町内企業のサステナブル経営を推進し、持続可能な地域経済の活性化を目指すとともに、事業活動におけるサステナブルな取り組みを可視化することで町内企業の非財務的な価値の向上を図ることを目的として、矢巾町サステナブルアワード2024を開催します。

- ◆日時 : 令和7年1月24日(金) 午後1時30分から午後3時まで
- ◆場所 : 矢巾町役場4階大会議室
- ◆内容 : ①矢巾町SDGsパートナーシッププログラムについての説明
②矢巾町、岩手銀行、サステナブル・ラボによる挨拶
③表彰式
④表彰企業による取組発表
⑤講評
- ◆参加費 : 無料

案 件 名 スミつけ祭り及び矢巾町冬イベントについて 1/2**所 管 部 署** 産業観光課 観光振興係 担当者 木村 朱里 (内線2606)

矢巾町の冬の風物詩スミつけまつりと矢巾町冬イベントを矢巾町営キャンプ場にて同時開催します。集客の相乗効果を図るとともに、当該施設の冬の活用策を模索します。

【スミつけ祭り】

◆日時 : 令和7年2月1日(土) 午後6時～午後7時30分

◆場所 : 矢巾町営キャンプ場(紫波郡矢巾町大字煙山第3地割25番地)

◆実施主体: スミつけ祭り実行委員会(實相寺内 019-697-5631)

◆内容: スミつけ祭りは、「焼観音お年越行事」として約四百数十年前から城内地区に伝えられており、厄除けや無病息災、五穀豊穡を祈りお互いの顔にスミ(消し炭)をつけ合う「奇祭」といわれている伝統行事です。例年行われている餅まきも開催されます。

案 件 名 スミつけ祭り及び矢巾町冬イベントについて 2/2

所 管 部 署 産業観光課 観光振興係 担当者 木村 朱里 (内線2606)

【冬イベント】

◆日時 : 令和7年2月1日(土) 午後4時～午後7時30分

◆場所 : 矢巾町営キャンプ場・煙山ひまわりパーク
紫波郡矢巾町大字煙山地内

◆実施主体 : 矢巾町・矢巾町観光協会 TEL : 019-611-2605

◆内容 : キャンプ場内のイルミネーションやキッチンカーの出店、手持ち花火大会などを行います。きれいな景色と美味しい食べ物を味わうことができ、幅広い年代で楽しめるイベントとなっております。

2025.

2.1 SAT

16:30~ ※雨天中止

※会場※

矢巾町営キャンプ場

※駐車場※

煙山ひまわりパーク

矢巾町営キャンプ場

冬イベント



イベント情報

※イルミネーション&ライトアップ

イルミネーションコーナー・雪あかりウォーキング

※ミニ花火大会(17:30~)

来場者の皆さんに 手持ち花火をプレゼント!
ミニ花火大会を楽しもう!

※その他アウトドアに関する
ワークショップ開催予定!
(中止決定は矢巾町ホームページでお知らせします)

グルメ情報

おいしいもので
あったまろう!

キッチンカーが
やってくる!



出店情報など
詳しいイベント内容は
QRコードからチェック!

主催 矢巾町、矢巾町観光協会
共催 スミつけ祭り実行委員会
後援 矢巾町教育委員会
協力団体 矢巾町消防団、矢巾町商工会、矢巾観光開発株式会社
問い合わせ 矢巾町産業観光課観光振興係 電話 019-611-2605
080-1314-7882 (土日のみ)

今年度は
町営キャンプ場で開催!!



奇祭

スミつけ祭り

令和7年

2月1日(土)午後6時開始

スミつけ祭りとは

矢巾町域内地域に四百数十年前から
伝わる奇祭です。

列名「歳時焚き(せあどたき)」と
も呼ばれる観音堂のお年越し行事であり、
災難除けや無病息災を祈り、お互い
に顔にスミを付け合います。

18:00~

開会式

18:20~

餅まき

18:30~

スミつけ開始

19:00~

スミつけコンテスト



矢巾町冬イベント
も同時開催決定!

※路上駐車はご遠慮ください。
また、車手をご持参ください。

主催
スミつけ祭り実行委員会
お問い合わせ
☎: 019-697-5631 (寶相寺)
☎: 019-697-2310 (矢巾町国民
民保養センター※当日のみ)

画像が写った後、スミつけ祭りで見えお願ひします!(ご自分以外の写真はその方の同意を取ってから。)

案 件 名	令和6年度地元学び塾 第3弾～味噌づくり編～の開催について
所 管 部 署	産業観光課 農林振興係 担当者 尾久 一太 (内線 2 6 0 4)

生産者自らが講師となり、生産者だからこそ知り得る知恵や食文化について、農業や地域に興味がある人へ向けて発信することで、矢巾町の農作ファンを増やし、地産地消を促し、矢巾町の新たな魅力の発見を目的とした令和6年度地元学び塾第3弾を開催します。

- ◆ 日時 : 令和7年2月15日(土) 午前10時から正午まで
- ◆ 場所 : 矢巾町公民館3階大研修室
- ◆ 内容 : ①3ちゃん矢次工房のメンバーを講師に、味噌づくりについて講義
②味噌づくり体験
- ◆ 参加費 : 税込み 1,500円(味噌づくり体験材料代として)
- ◆ 定員 : 30名(未就学児は保護者同伴)

味噌づくり
体験

「ばあちゃんの知恵」「とうちゃんの誇り」「かあちゃんの愛情」
が詰まった3ちゃん矢次工房の手作り味噌。
農家でもある3ちゃん矢次工房の皆さんから
味噌づくりへの想いや、昔ながらの知恵を学びます。

作った味噌は各自お持ち帰り！
約1年後に食べごろになります。
手作り味噌の味をお楽しみに♪



お申込みは
こちらより
お願いします



令和6年度 地元学び塾 第3弾
味噌づくり体験 

※児童・保護者ともに、参加希望の方全員のご記入をお願いします。

氏名・年齢 (1人目)	/	歳
氏名・年齢 (2人目)	/	歳
氏名・年齢 (3人目)	/	歳
氏名・年齢 (4人目)	/	歳
住所		
連絡先、電話番号		
食物アレルギー	あり ・ なし ※ありの場合は品目をご記入ください 【 】	
その他連絡事項		

申込みにあたっての注意事項

- ・当日は、矢町町公民館3階大研修室に集合し、受付と参加費のお支払いをお願いします。
 - ・荒天等により中止の場合は、当日朝8時までにお電話にてご連絡いたします。
 - ・感染症対策につきましては、各自のご判断でお願いします。
 - ・申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
- (2月4日(火)に電話またはメールにて、結果をご連絡いたします。)

令和 7 年
2 月 15 日 (土)

10:00～12:00 (受付開始 9:30)

場所 矢巾町公民館 3階大研修室

参加費 ひとり 1,500 円(税込み) **定員** 30 名

内容

- ・3ちゃん矢次工房の紹介
- ・味噌づくり（1人あたり2kg相当）
- ・3ちゃん矢次工房の味噌やがんづきなどの販売会

持ち物 ・エプロン ・三角巾 ・飲み物 ・筆記用具
・お持ち帰り用エコバッグ
※当日は靴下を履いてご参加ください

お申込み方法 専用申込みフォーム
 申込期間： 令和7年1月20日(月)～31日(金)
 ※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

お問い合わせ

矢巾町役場 産業観光課 農林振興係 (平日：8：30～17：15)

電話 019-611-2604 FAX 019-611-2609

案 件 名 **第47回矢巾町郷土芸能大会について**

所 管 部 署 文化スポーツ課 文化財係 担当者 煙山裕 （内線2861）

矢巾町に古くから伝わる郷土芸能を公開し、広く鑑賞する機会を提供するとともに、郷土芸能の伝承保存に努めている団体の活性化を図るために、矢巾町郷土芸能大会を開催します。

◆日時 ： 令和 7 年 1 月 1 9 日（日） 午前 1 0 時から（開場 9 時 3 0 分）

◆場所 ： 矢巾町文化会館（田園ホール）

◆主催 ： 矢巾町郷土芸能保存会、矢巾町教育委員会

◆出演団体 ： 室岡獅子踊、白沢さんさ踊、南矢幅さんさ踊、徳丹獅子舞、
矢巾町民謡保存会、北郡山さんさ踊の町内 6 団体
特別出演として盛岡市から八ツ口神楽が出演します。

◆その他 ： 入場料無料



白沢さんさ踊



室岡獅子踊



北郡山さんさ踊



矢巾町民謡保存会



南矢幅さんさ踊



徳丹獅子舞

第47回

矢巾町郷土芸能大会

客演団体
ハッ口神楽(盛岡市)

令和7年
1/19日

田園ホール
(矢巾町文化会館)

入場無料 全席自由

開演10時(開場9時30分)

矢巾町の民俗芸能

矢巾町は紫波郡内にあるために旧郡南村や紫波町の民俗芸能と深いつながりがあります。紫波郡は平安時代から平泉藤原一族の樋爪氏が支配し、鎌倉時代から室町時代は斯波氏が北に支配を広げましたが、戦国時代になり南部氏に屈して軍門に下り、江戸時代には盛岡藩に組み込まれました。戦国の世で農民など庶民が安寧を求めて芸能を行うようになり、特に浄土信仰による念仏踊や死者供養を行うようになりました。庶民の暮らしに深く浸透した里修験は村ごとに寺社を設け、権現祈禱や神楽で神仏の加護を施し、芸能にも関与していきました。

矢巾町には、神楽・大神楽・田植踊・念仏剣舞・獅子踊・さんさ踊などの民俗芸能があります。それらは江戸時代の村単位で伝承されて来ましたが、それが現在の団体名になっています。神楽は祭礼に深く関わる修験や社家の職分が一般の人には行えませんでした。大神楽も七軒丁という藩お抱え芸能集団の支配を受けていました。田植踊は集落の契約講などが采配をふるって小正月に豊作を祈願して行いました。念仏剣舞は庭元を中心に組織され盆供養に集落を巡りました。獅子踊も庭元を中心に組織され祭礼奉納や盆供養の門付けを行います。さんさ踊は基本的に盆踊ですが、鎮守の宵宮で集落こぞって楽しむ踊として行われています。

【出演団体の紹介】

ハッ口神楽

盛岡市上太田の熊野神社に依拠して江戸寛政年間頃から伝承されてきたと言われる修験系の神楽です。熊野神社は、聖護院本山派慈恩光坊配下の寿楽院が勤めてきて太田村を震地として支配してきました。神楽の庭元は、代々熊谷家(屋号ハッ口家)が勤め現在に至っています。碑文によると慶長11年には、南部利直から功績を認められ邸を贈られています。

9月5日ハッ口の熊野神社祭礼に奉納し、9月3日は藤倉神社、9月8日は温泉神社に奉仕しています。

現在舞える演目は、巫女舞、権現舞、御神楽、八幡舞、山の神舞、七夕、連達切などですが、その他16演目ほどあり復活の機会を目指しています。

南矢幅さんさ踊

由来によると昔、南矢幅の女性が乙部の黒川に嫁に行ったことで伝承が始まったとされています。9月第一土曜日行われる地元熊野神社祭礼に奉納し、その後門打ちも行っています。その他、各地に招かれて公演しています。

演目は16種類ありますが、現在は、庭踊り・中踊り・七夕崩・組踊の順で踊り最後は礼踊りで納めます。お盆に墓地で供養の踊りも行っており、必ず勇躍踊を踊り僧侶に念仏をあげてもらいます。

白沢さんさ踊

大正13年に紫波郡乙部村黒川(現盛岡市)で伝承されていた黒川参差路の師匠3人を招いて12演目の指導を受けて日向前さんさ踊りとして踊り始めました。白沢地区は、JR矢巾駅の南に位置し昔より郷土芸能が盛んなところで熊野神社に神楽が奉納し、お盆には大念仏剣舞が先祖供養をしていました。伝承されたさんさ踊り、お盆に門付けしたり、宮古の港まつりや石鳥居の祭礼に出かけたりしていましたが、戦時中は中断し、戦後、地域住民がさんさ踊りを復活させ、同好会として活動していました。

昭和56年に保存会を発足させて活動しています。黒川参差路の勇壮華麗さを受け継いで、盛岡さんさ踊りの伝統さんさ踊り公演の常連として注目を浴びています。

徳丹獅子踊

紫波郡に伝承される獅子踊の元祖と言われています。「龍頭由来記」によると南部光行が奥州下向に同行したと書かれています。江戸正徳年間に現在の紫波町紫野に伝わった言う記録もあることから江戸中期には紫波郡各地(桜屋・室岡・乙部・紫野)で同系統の獅子踊が伝承されていたようです。昭和戦中に中断したのが戦後もなく再興したが1990年代に休止し、現在は徳田保育園の園児や職員によって踊られています。矢巾町の獅子踊は、太鼓や笛など囃子方が付き一入の幕踊系獅子踊で、唐団扇やササラをもった中踊りや一八など獅子あやしが一絶に踊ります。

室岡獅子踊

徳丹獅子踊から明治7年に伝承された桜屋獅子踊から大正7年に巻物が相伝され伝承されています。平成24年に4代目に引き継ぎ、地元で盛大に相伝式を行いました。演目は、「歩き太鼓、回向、鹿登(4種)、キリ(4種)、オギリ(8種)、露はみ(2種)、入れ違い(3種)、獅子狂い(女獅子狂い・男獅子狂い)、納め」と多彩で充実しています。地元の木宮神社の8月24日の祭礼に奉納しています。大夫の家に集合して着替えて神社まで行列を作り通りやして向かいます。本大夫は紋付羽織姿で踊りを見守ります。踊り大夫は、踊りを指揮して見せ場を作り、一八は踊り大夫を手助けして盛り上げます。

矢巾町民謡保存会

8月の第20回南部よしやれ全国大会で、矢巾町民謡保存会の「ゆりの会」が踊りの部で最優秀賞・準グランドチャンピオンに輝きました。日本民謡協会民謡舞全国大会にメンバーが出演、第64回郷土民謡舞全国大会に小学生の部で優勝、各部門でも入賞しました。若手民謡まつりでは、嘉瀬の奴・南部あいや節・津軽あいや節の唄、踊りの民謡モデルで出演しました。

白山神社祭礼に60年振りに装束新調しチャグチャグ馬コを南部馬方節やチャグチャグ馬コを保存会メンバーが唄い奉納しました。発足以来地元の行事を重視しながらも全国に発信できる技量を身に磨けて活躍しています。

北郡山さんさ踊

大正12年に地域の人が大夫になってみんなで豊作を願い、融和を願ってお盆に踊り始めました。矢巾町は昭和30年に徳田村と不動村・煙山村が合併した町で、北郡山地区は、徳田村の南端の田園地帯で八幡神社(八幡寺)を鎮守に営まれてきました。盆踊りとして地域挙げて楽しんでたさんさ踊りも、先祖供養や祭礼行事に奉仕し踊組になり、地域の門打ちなど芸能として内容の充実が図られ現在の優雅で運動的な多数の演目を持つ郷土芸能に発展してきました。北郡山さんさ踊は、昭和59年に下火だった踊りを復興させ保存会として出発し、9月7日の八幡神社宵宮に奉納し、依頼を受けたイベントなどに出演しています。

【主催】矢巾町郷土芸能保存会、矢巾町教育委員会
【後援】(一社)岩手県文化財愛護協会、矢巾町観光協会、矢巾町芸術文化協会
【お問い合わせ先】矢巾町郷土芸能保存会事務局(矢巾町文化スポーツ課文化財係 019-611-2860)

	出演団体	所要時間	演舞時間
1	室岡獅子踊保存会	20分	10:20～10:40
2	白沢さんさ踊保存会	20分	10:45～11:05
3	南矢幅さんさ踊保存会	20分	11:10～11:30
4	徳丹獅子舞保存会	10分	11:35～11:45
5	八ツ口神楽保存会（盛岡市）	20分	13:00～13:20
6	矢巾町民謡保存会	20分	13:25～13:45
7	北郡山さんさ踊保存会	20分	13:50～14:10

主イベント【お知らせ】 1月中旬から2月中旬までの主なスケジュール



※下記スケジュールについては現時点のものであり、特に屋外でのイベントについては天候等の状況によって中止あるいは延期する場合があります。

日 付	内 容
令和7年1月19日（日）	第47回矢巾町郷土芸能大会 （午前10時から 田園ホール）
令和7年1月22日（水）	町長と矢巾の未来を語る会 （午後1時55分から 不動小学校）
令和7年1月24日（金）	矢巾町サステナブルアワード2024 （午後1時から 役場4階大会議室）
令和7年2月 1日（土）	スミつけ祭り及び矢巾町冬イベントについて （午後4時から 町営キャンプ場）
令和7年2月12日（水）	2月定例記者会見（予定） （午前9時30分から 役場庁舎2-2会議室）